

1

学力を育む ～自ら課題や展望を見だし、粘り強く挑戦し学ぶ人～

本手引は、令和7年度からの「しまね教育振興ビジョン」「第2期しまねの学力育成推進プラン」策定前に作成しているため、令和6年度までの「しまね教育魅力化ビジョン」及び「しまねの学力育成推進プラン」に基づいて記載しています。

令和2年3月に、「ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人づくり」を基本理念とした、5年間の本県教育の施策の方向性を示す「しまね教育魅力化ビジョン」（以下「教育ビジョン」という。）が策定された。この教育ビジョンにおいては、育成したい人間像を「自ら課題や展望を見だし、粘り強く挑戦し学ぶ人」、「人とのかかわりやつながりを大切にし、新たな社会を創造する人」、「自然や文化を愛し、自他を共に大切にする優しく強い人」と定めている。

「自ら課題や展望を見だし、粘り強く挑戦し学ぶ人」は、学力を育む（より広くは学びの力を育む）観点からの人間像である。複雑化・多様化した現代社会の課題の解決のためには、既存の知識・技能を習得し応用することに加え、未知の問題を発見して課題を組立て直したり、独自の視点から解決に至る道筋や手法を開発したりすることが求められる。そこで、受け身の学習ではなく、自らの目標をもって、難しい課題に粘り強く取り組んだり、誰も取り組もうとしない課題に挑戦したりする学びの開拓者であってほしいと考え、次のような力の育成を図ることとした。

【育成したい力】

【学びの支えを築く】基礎的な知識・技能を身に付け、生かす力

- ・基礎学力（基礎的な知識・技能）
- ・学びを支える基礎体力や基本的生活習慣
- ・情報や情報通信技術（ICT）を学びに生かす力

【深め広げ豊かにする】自分の考えや意見を構築し、伝える力

- ・未知の課題を発見し探究しようとする力
- ・他者との対話や協働の中から、自らの思考を深める力
- ・自分の考えや意見を構築し、伝わるように表現する力

【人生や社会に生かす】夢や志を形成し、やり遂げようとする力

- ・学びを支える自分の夢や志を形成する力
- ・失敗や挫折を恐れず試行錯誤を繰り返し、やり遂げようとする力

令和3年3月には、教育ビジョンを具体的に推進するため、実行期間を令和3年度から令和6年度の4年間とする「しまねの学力育成推進プラン」を策定し、以下（一部抜粋）の取組を推進していく。

A 取組の方向性

基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせ、人生や社会で生かすことのできる確かな学力と学び続ける意欲を育む教育の推進。

取組の柱

（1）授業の質の充実

ICTやふるさとの地域素材を有効に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点をもった授業づくりを推進していきます。さらに、学力・学習状況調査等の各種調査の分析を参考にし、組織的かつ計画的に授業の質の充実を図っていきます。

（2）家庭学習の充実

学校・家庭・地域が家庭学習の意義の共通理解を図り、同じ目線で子どもたちに声掛けができる環境をつくること、学校が家庭学習において意図的に学びを広げ深められるような授業の展開、ICTを活用した家庭学習の在り方の研究など、家庭・地域との連携のもとで家庭学習の充実を図っていきます。

（3）地域に関わる学習の充実

高校段階において、当事者意識を持ちつつ、地域課題解決型学習を深めることができるよう、小学校段階では地域に親しみ、地域を知る機会を多く設け、中学校段階では地域のために行動・実践する場を充実させるなど、探究の過程を踏まえた系統的で連続性のある総合的な学習（探究）の時間の在り方を研究していきます。

【しまね教育魅力化ビジョン】

左の2次元コードは、令和6年度までの「しまね教育魅力化ビジョン」「しまねの学力育成推進プラン」のリンクです。



令和7年度からの「しまね教育振興ビジョン」「第2期しまねの学力育成推進プラン」は、しまねの教育情報web EIOSを参照ください。

【しまねの学力育成推進プラン】

